

5月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔平成30年5月末現在〕

平成30年6月12日
茨城県中小企業団体中央会

製造業の数値はおおむね改善したものの、原油価格の高騰やゴールデンウィークの恩恵が受けられなかった等の影響により非製造業の数値はおおむね悪化した。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「売上高」は改善したが、「景況」「収益状況」は悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「収益状況」に変化はなかったが、「景況」「売上高」は改善した。非製造業では、「売上高」に変化はなかったが、「景況」「収益状況」は悪化した。

景況DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の0.0ポイント、非製造業は、前月比8.4ポイント悪化の-29.2ポイント、全体では、前月比2.0ポイント悪化の-14.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比で11.4ポイント改善の15.4ポイント、非製造業は、前月比で変化なしの-37.5ポイント、全体では、前月比6.3ポイント改善の-10.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比で変化なしの-7.7ポイント、非製造業は、前月比で8.4ポイント悪化の-29.2ポイント、全体では、前月比4.0ポイント悪化の-18.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	県都水戸市では、水戸産の農作物を学校給食の食材として消費した場合に限り、今年度より食材に対して予算を計上することになった。市から米粉パンをこれまでの県産米から水戸産米へ切り替えてほしいとの要望が水戸市内の組合員にあった。まだ、試作の段階だが将来のパン給食増の一助になればと組合員も必死な様子。
	餡	
	味噌	昨年と比較して原材料の仕入れ価格が値上がりしている。値上がり分を販売価格に転嫁できず、厳しい状況が続いている。
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の状況 当県4月の課税移出数量は、83.5%と近年になく落ち込んでいる。特に普通酒の落ち込みは大きい。吟醸・純米酒の伸びは堅調である。(普通酒の前年同月比△19L、吟醸・純米酒は前年同月比+13L) 昨年11月以降、中堅蔵元が普通酒を減らし特定名称酒に注力しているが、醸造現場での人員の余剰が製造コストを高めている。4月の焼酎については、前年同月比80.2%と減少しているが、今後夏場の消費動向により、月別は大きく増減すると思われる。 なお、全国ベースでも平成29年度清酒は前年比96.9%、焼酎は前年比97.1%と引き続き前年を割り込んでいる。しかし、輸出免税数量は(暦年)23KL、金額においては186億円、前年比約20%の伸びを示しており、6年連続過去最高を記録している。 ○県内当業界について 例年5月は、当県組合総会・関信支部総会等、業界内関連諸会議が行われ、今年度の新たな方針に基づきスタートした。特に、組合組織(執行部体制)の改正(会長1名・副会長4名・常任理事廃止)を行った。県内蔵元の動きとしては、海外での人気を意識した商品開発として、日本酒を蒸留したスプリッツ「クラフトジン」や鯖に合う日本酒「サバデシュ(酒)」を作成し、海外での人気を逆輸入して微量ながら日本酒の魅力発信を模索している。
	納豆	・納豆業界全体に値上げしているの、取引条件、収益状況、資金繰りは好転している。 ・組合員全体では、約10%~20%の価格値上げを予定している。 ・組合員全体では、年内には納品価格を上げる予定。 ・人件費、資材費、配送費、燃料費等の値上がりにて、収益が今後どうなるか分からない。 ・全国的に現場での人手不足に困っている。
	菓子	
繊維工業	織物	
	袋物	年間で最も売上、収益が下降する月。組合内で仕事の融通が見られた。
	衣服	
木材・木製品	製材	連休明けの荷動きが期待されたが、当用買いが多く、需要の鈍さが続いている。非住宅向け需要は比較的堅調であり、住宅向けの不振を一部補っているが、全体の荷動きを上げるまでには至っていない。 6月向けの引き合いも少なく、7月の回復が期待される。先行き不透明感が強い。
	県北地区プレカット	4、5月と低調だったが、6月に入って中間までは順調な受注状況。不安要素としては梅雨時期の為、現場作業に遅れが出た場合、工場の生産工程に支障が出る可能性がある。全般的に厳しい受注状況が続いている。
	県央地区プレカット	工場稼働状況は、平年並みを維持。 取引先より、大手プレカット工場との価格競争で、加工単価値下げ要求を受けているが、人件費等内部コストが上昇しているの、値下げ要求は非常に厳しい状況にある。
紙・紙加工品	段ボール	組合員ではないが、同業者が県内で1社が廃業、千葉県で1社M&Aがあった。一方で、大手が県内で工場の運転を開始。今後、価格競争が激化する見込み。
印刷	総合	
化学・ゴム	自動車部品	
窯業・土石製品	石材	
	コンクリート製品	
	焼物	春の行楽シーズンも終了し、一段落ついたところだが、常に街中に賑わいのあるような雰囲気を作っていければと思います。一人の力だけでは、難しいことなので、多くの力を結集したいと考えている。
	生コンクリート	
鉄鋼・金属	鍍金	売上は前年度比同水準だが、連休のため前月比では1割減。収益状況は前年同水準を保った。 燃料等は値上がり傾向。亜鉛金属は値段が低下してきたが、ニッケル・貴金属等は高値で安定している。薬品価格に大きな変化はない。
	鑄造	

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

平成30年5月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	一般機器	精密機器	
		工業団地	7組合員の売上状況は、前年同月比で増加が6社、減少が1社で、全体増減率が104%という状況。 国内向け農機具部品が主力の組合員は減収となっている。一方、輸出に関連する組合員の受注は増加しているが、人員確保ができず、繁忙感が高まっている。各社ともに現場作業員の確保には苦勞しているところで、組合員の求人に対する直接の応募がほとんどなく、派遣会社頼りになっている。人材の質を問えず、品質維持に苦しんでいる。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	売上高はやや増加しているが、取引条件はやや悪化傾向にある様子。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高前年同月比2.56%の減少。鮮魚（マグロ、カツオ、イカ、その他）水産物全てで卸し価格が高値で安定している。 先行きは不透明な状況。
		県南地区卸	食材（食肉、業務用食材冷凍食品）等を取扱う組合員は売上増加傾向にある。食料品酒類はやや不振。全体的には業況は上向き。
		食品卸売業	5月は、野菜果実合計で、前年対比92%の取扱高となった。野菜に関しては、連休明けの気温低下や雨天の影響もあり、中旬の単価は上旬までに比べ上昇したが、前年対比では入荷量増、単価安で推移した。 果実に関しては、メロン、スイカなどで入荷は順調となったが、気温低下による需要減や、母の日の需要の伸び悩みがあり、単価安で推移した。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比横ばい。建設工事の減少から、低位安定の感がある。
	小売業	県北地区共同店舗	前年対比売上99.12%、客数132.44%。GWのセールは、売上95.1%、客数130.4%となり、イベント自体は盛り上がり集客に繋がった。しかし、売上には繋がらず、なお一層の個店努力が必要である。
		県央地区共同店舗	売上、客数の昨年対比はともに97%。 食料品は106%と好調であるが、衣料品は低調傾向で今月も昨年対比を割り込んだ。
		県南地区共同店舗	5月度は、連休中も含め不振だった。物販部門は苦戦が続き、連休中の集客も前年度比90%と客数の少なさに苦戦を強いられた。 その中で、なんとかフィットネス、リラクゼーション、理容・美容は前年同水準をキープした。
		クレジット	
		クレジット	
		家電	2018年12月から始まるBSと110度CSによる新4K・8K衛星放送開始半年前になり、この件に関する講習会、総務省助成金などの課題が山積。加えて、新製品発売情報などが話題になっている。 さらに、省エネ家電マーケットモデル事業、延長保証、Tポイント加入促進など、盛り沢山の提案があり、いずれも販売促進に繋げていきたい内容。何とかこれを販売増に結び付けたい。
		石油	原油価格が急騰し、ガソリンの販売価格は、前年同月比で14円上昇。しかし、依然として安値販売競争が続いているため、収益状況は、改善されていない。
		農機具	
	中古自動車	5月度の車両販売価格は328,330,000円、販売台数は234台、平均単価は1,403,000円と前年同月比でそれぞれ約18%、約2%、約16%の増加。	
	商店街	水戸	
		筑西	
建設業	総合	年度初めのため工事受注がなく各社大幅受注減。また建築工事においては昨年度より工事受注減が続き厳しい状況が続いている。	
	電気工事		
	管工事		
	交通安全施設		
	鉄筋工事業		
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車95.1%・軽自動車97%とともに減少となった。	
	ホテル・旅館	今年のGWは昨年と比べて連休の日数が少なく、名物となっているネモフィラの開花時期が早まるなど全体的に盛り上がり欠けた。 県西、県南エリアでは、ビジネスマン、長期作業員、学生合宿等利用の伸びが著しく、稼働率は上昇。それに比例して人手不足が深刻化している。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	平成30年4月時点で、当組合の組合員数は118名、車両台数は152台と前月比各2増。一方、全国赤帽連合会は同8291名、同9789台と前月比各6減であった。
	貨物軽自動車運送	
	県北地区一般貨物	顧客動向は依然低調であり、物量は減少している。 また、燃料費が高騰となり収益状況は厳しい状態が続いている。
その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	日本酒業界の全国的な取り組みのひとつである「酒蔵ツーリズム」の企画連携、乾杯条例の広がりの中で10月1日開催の一斉乾杯イベント支援協力をお願いしたい。
	パン	パン給食回数の増加要望
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	早期発注を強く要望する。また、災害復旧工事のため各社会規模を拡大しているところで、工事量が減少すると経営的厳しい状況になる。建設業界全体の体質を向上させる施策をお願いしたい。

月次景況調査 5月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比
景 況	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 2.0	0.0	▲ 3.8	3.8	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 8.4
売 上 高	▲ 10.0	▲ 16.3	6.3	15.4	4.0	11.4	▲ 37.5	▲ 37.5	0.0
収 益 状 況	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 4.0	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 0.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 8.4
販 売 価 格	0.0	4.0	▲ 4.0	11.5	3.8	7.7	▲ 12.5	4.2	▲ 16.7
取 引 条 件	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 3.8	▲ 7.7	3.9	▲ 4.2	0.0	▲ 4.2

中小企業月次景況調査(平成30年5月)DI値(前年同月比)

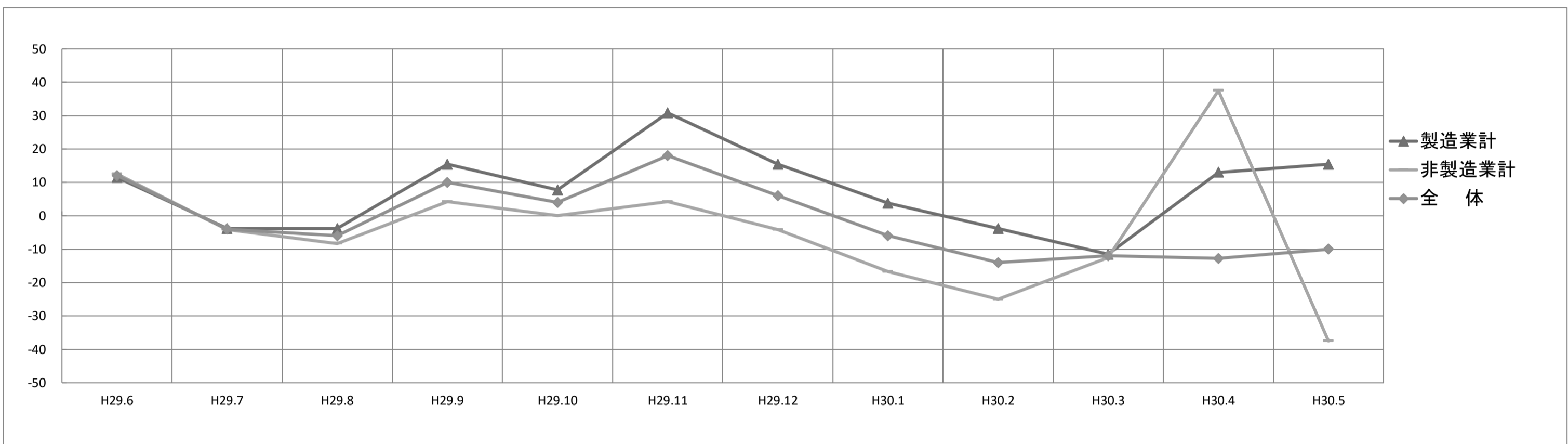
	売上高					在庫数量					販売価格					取引条件					収益状況					資金繰り					設備操業度					雇用人員					業界の景況				
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)								
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数		好転	不変	悪化	業界数					
製造業	食料品	0.0	1	4	1	6	△ 33.3	0	4	2	6	50.0	3	3	0	6	16.7	1	5	0	6	16.7	1	5	0	6	16.7	1	5	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	33.3	2	4	0	6				
	繊維工業	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3				
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3				
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	窯業・土石製品	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4				
	鉄鋼・金属	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2				
	一般機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2				
	電気機器	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	輸送機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2				
	製造業計	15.4	6	18	2	26	△ 15.4	0	22	4	26	11.5	4	21	1	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 7.7	2	20	4	26	0.0	1	24	1	26	11.5	3	23	0	26	△ 3.8	1	23	2	26	0.0	2	22	2
非製造業	卸売業	△ 50.0	1	0	3	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	1	3	0	4	△ 25.0	1	1	2	4	0.0	1	2	1	4	X	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	1	1	2	4			
	小売業 (商店街含む)	△ 27.3	3	2	6	11	0.0	0	11	0	11	9.1	2	8	1	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 36.4	1	5	5	11	△ 36.4	0	7	4	11		△ 18.2	0	9	2	11	△ 27.3	0	8	3	11			
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2	X	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0		2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	建設業	△ 40.0	0	3	2	5		△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0		5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運輸業	0.0	1	0	1	2		△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1		2	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	非製造業計	△ 37.5	5	5	14	24		△ 6.7	0	14	1	15	△ 12.5	2	17	5	24	△ 4.2	1	21	2	24	△ 29.2	3	11	10	24	△ 16.7	2	16	6		24	△ 4.2	1	21	2	24	△ 29.2	1	15	8	24		
全体	△ 10.0	11	23	16	50	△ 12.2	0	36	5	41	0.0	6	38	6	50	△ 4.0	2	44	4	50	△ 18.0	5	31	14	50	△ 8.0	3	40	7	50	11.5	3	23	0	26	△ 4.0	2	44	4	50	△ 14.0	3	37	10	50

D I 値推移表 (H29.6月 ~ H30.5月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5
食料品製造業	16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	10.0	5.0	5.0	25.0	10.0	35.0	20.0	10.0	0.0	▲ 15.0	11.8	20.0
製造業計	11.5	▲ 3.8	▲ 3.8	15.4	7.7	30.8	15.4	3.8	▲ 3.8	▲ 11.5	13.0	15.4
卸売業	0.0	▲ 75.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	18.2	9.1	▲ 9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	45.5	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0
建設業	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
非製造業計	12.5	▲ 4.2	▲ 8.3	4.2	0.0	4.2	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5
全体	12.0	▲ 4.0	▲ 6.0	10.0	4.0	18.0	6.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 12.8	▲ 10.0

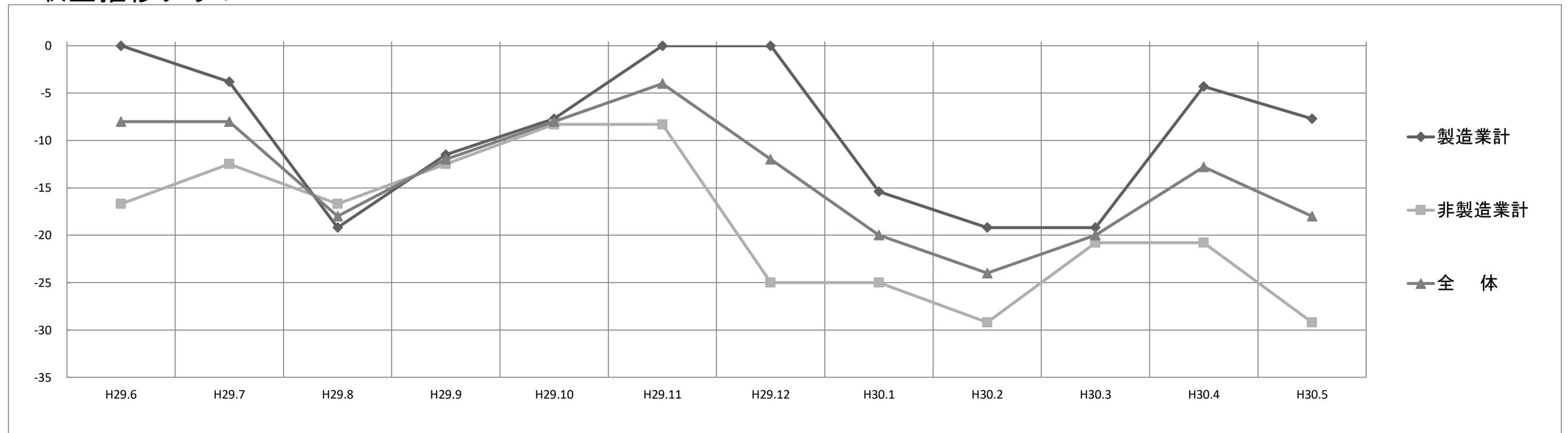
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5
食料品製造業	33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	0.0	▲ 15.0	▲ 5.0	▲ 10.0	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 15.0
製造業計	0.0	▲ 3.8	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 7.7
卸売業	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	0.0	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0
建設業	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 29.2
全体	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 18.0	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 18.0

《収益推移グラフ》

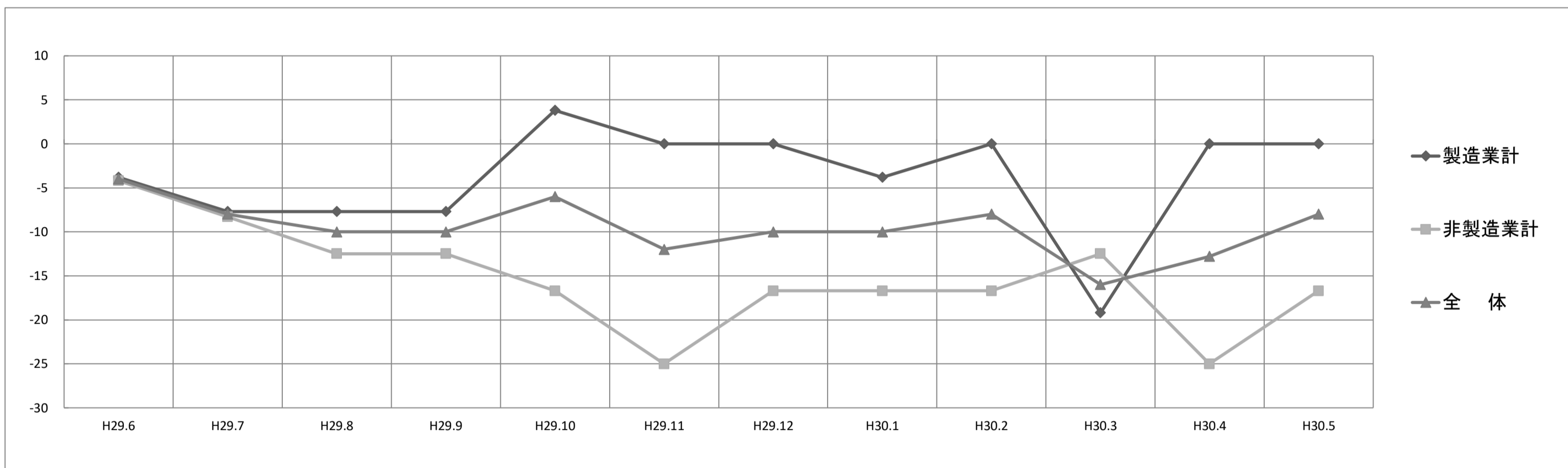


D I 値推移表 (H29.6月 ~ H30.5月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 5.0	0.0	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 5.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 7.7	3.8	0.0	0.0	▲ 3.8	0.0	▲ 19.2	0.0	0.0
卸売業	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 16.7
全体	▲ 4.0	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 8.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5
食料品製造業	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 15.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5.9	▲ 10.0
製造業計	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 3.8	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 7.7	4.3	0.0
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 29.2
全体	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 8.5	▲ 14.0

《景況推移グラフ》

